

# 農業支援サービス事業緊急拡大支援対策事業費(新規)

予算額	50,000千円	(前年度	—	千円)
うち道費	0千円	(前年度	—	千円)

## 1 事業の目的

農業者の高齢化等による離農が急速に進行する中、国内の生産水準を維持していくためには、スマート農業技術の活用等により農業現場における生産性向上を支援する農業支援サービス事業の利用に向けた体制を早急に強化することが必要である。

そのため、農業支援サービス事業者がサービスを提供するために必要な農業用機械の導入を支援する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	補助率	事業実施主体	予算額
農業支援サービス事業緊急拡大支援対策事業費	○農業支援サービスを提供する事業者（概ね総合振興局・振興局域でサービスを提供する事業者）がサービスの提供に必要な農業用機械の導入を支援	1/2以内	農業支援サービスを提供する事業者	50,000 ( 0)
合計				50,000 ( 0)

## 3 事業実施主体

農業支援サービスを提供する事業者

## 4 事業実施期間

令和6年度（2024年度）

担当：農政部生産振興局技術普及課  
(内線27-808)

# I C T 活用種馬鈴しょ生産実証事業費

予 算 額	40,000千円 (前年度 17,530千円)
うち道費	0千円 (前年度 0千円)

## 1 事業の目的

全国一の生産を誇る馬鈴しょは、畑作農業の経営規模の拡大に伴う労働負担の増大などにより、作付面積が減少傾向にある。特に種馬鈴しょは、植物防疫法に基づく検査が義務づけられていることから、種馬鈴しょ生産における異常株抜き取り作業の負担軽減を図るため、I C Tを活用した生産技術を実証する取組を支援する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	補助率	予算額
異常株抜き取り 作業の負担軽減 に向けた実証事 業	○異常株の写真・映像データ収集 ○病株のA I 判定に係る精度向上のため の技術実証 ○従来が目視確認による抜き取り回数 等のデータ集計(モニタリング調査) ○取組計画や進捗、実績等の検討・検 証	定額	40,000 ( 0)
合 計			40,000 ( 0)

## 3 事業実施主体

市町村、農業者の組織する団体、農業者等で構成するコンソーシアム等

## 4 事業実施期間

令和4年度(2022年度)～

担当：農政部生産振興局農産振興課  
(内線27-720)

# 情報通信環境整備対策事業費

予算額	280,000千円	(前年度	190,000千円)
うち道費	0千円	(前年度	0千円)

## 1 事業の目的

農村地域における農業農村インフラの管理の省力化・高度化やスマート農業の実装を図るとともに、地域活性化を促進するため情報通信環境の整備を支援する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	補助率	予算額
計画策定事業	○情報通信環境整備に必要な調査、整備計画の策定	定額	230,000 ( 0)
施設整備事業	○光ファイバ、無線基地局等の整備	50%等	50,000 ( 0)
合計			280,000 ( 0)

## 3 事業実施主体

市町村、土地改良区、農業協同組合等

## 4 事業実施期間

令和3年度(2021年度)～

〔担当：農政部農村振興局農村計画課(内線27-404)  
農村整備課(内線27-603)〕

# 食の安全・安心推進費

予 算 額	2,602千円 (前年度 2,813千円)
うち道費	2,602千円 (前年度 2,813千円)

## 1 事業の目的

北海道食の安全・安心条例に基づき、道民の健康の保護及び消費者に信頼される安全で安心な食品の生産並びに供給に資するため、食の安全・安心の確保に関する各種施策を総合的に推進する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	事業実施期間	予算額
食の安全・安心 条 例 推 進 費	○食の安全・安心委員会の運営 ○食のリスクコミュニケーションの開催 ○食の安全・安心委員会専門部会の運営 ○遺伝子組換え作物モニタリング検証	H17年度 (2005年度) ～	2,026 (2,026)
	○食の安全・安心調査検討費	H20年度 (2008年度) ～	363 ( 363)
きらりっぷ普及 拡 大 事 業 費	○制度の円滑な運営と認証基準の検討	H25年度 (2013年度) ～	213 ( 213)
合 計			2,602 (2,602)

## 3 事業実施主体

北海道

( 担当：農政部食の安全推進局食品政策課 )  
(内線 27-653)

# 食の安全・安心条例推進費

予 算 額	2,389千円 (前年度 2,389千円)
うち道費	2,389千円 (前年度 2,389千円)

## 1 事業の目的

北海道食の安全・安心条例に基づき、学識経験者、消費者及び生産者等を構成員とする「北海道食の安全・安心委員会」を道の附属機関として設置し、道民の意見を踏まえ、食の安全・安心の確保に関する取組を積極的に推進する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	事業実施期間	予算額
食の安全・安心委員会運営費	○食の安全・安心委員会の設置・運営 ・調査審議内容 ①食の安全・安心に係る道の施策 ②リスクコミュニケーションのテーマ ③遺伝子組換え作物栽培計画等の調査審議 ④食の安全・安心の確保に関する重要事項	H17年度 (2005年度) ～	1,059 (1,059)
食のリスクコミュニケーション開催費	○食のリスクコミュニケーションの開催 ・食の安全・安心に係るテーマについて、情報提供や意見交換を実施		187 ( 187)
食の安全・安心委員会専門部会運営費	○食の安全・安心委員会専門部会の設置・運営 ・調査審議内容 遺伝子組換え作物栽培計画に係る調査審議等		351 ( 351)
遺伝子組換え作物モニタリング検 証 費	○遺伝子組換え作物栽培者のほ場及び周辺における現地調査		429 ( 429)
食の安全・安心調査検討費	○食の安全・安心の確保に関する調査・検討	H20年度 (2008年度) ～	363 ( 363)
合 計			2,389 (2,389)

## 3 事業実施主体

北海道

〔 担当：農政部食の安全推進局食品政策課  
(内線 27-653) 〕

農業生産総合対策事業費のうち

# 農産物検査指導監督等推進費

予 算 額 1,543千円（前年度 1,582千円）

うち道費 1,531千円（前年度 1,578千円）

## 1 事業の目的

農産物検査法に基づき、地域登録検査機関の登録事務や立入調査等の指導監督を行い、農産物検査の適正かつ円滑な実施を確保する。

## 2 事業の内容

（単位：千円）

区 分	事 業 内 容	予算額
農産物検査指導監督等 推進費	○巡回立入調査・指導 ○疑義案件に係る立入調査 ○登録検査機関の登録・変更・更新	1,543 (1,531)
合 計		1,543 (1,531)

## 3 事業実施主体

北海道

## 4 事業実施期間

平成28年度（2016年度）～

担当：農政部生産振興局農産振興課  
（内線 27-729）

# 農業生産資材安全使用等総合推進事業費

予算額	16,266千円(前年度 11,501千円)
うち道費	639千円(前年度 740千円)

## 1 事業の目的

生産資材（農薬）の適正な流通及び使用を確保するため、関係者に対する研修や資料配付により啓発指導を行うとともに、関係法令に基づく指導・取締り等を行う。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	補助率	事業実施主体	予算額
農薬安全使用等総合推進事業費				15,799 ( 172)
農薬適正流通確保対策事業	○農薬指導士認定研修の実施 ○販売業者等への立入検査	—	北海道	70 ( 35)
農薬適正使用推進事業	○指導資料等の作成 ○研修や巡回指導の実施	—	北海道	274 ( 137)
農薬適正使用推進事業費補助金	○マイナー作物農薬残留確認調査等に対する支援	1/2 以内	農業団体等	10,500 ( 0)
ヘパタクロル残留等対策事業費補助金	○作付予定ほ場及び出荷前のかぼちゃの残留分析	1/2 以内	農業団体	4,955 ( 0)
農業生産資材安全利用対策事業費				467 ( 467)
農業生産体制保安対策事業	○農作業安全啓発運動の推進	1/2 以内	北海道、北海道農作業安全運動推進本部	467 ( 467)
合 計				16,266 ( 639)

## 3 事業実施期間

昭和25年度（1950年度）～

〔担当：農政部生産振興局技術普及課  
(内線 27-838、27-840)〕

# 家畜衛生指導推進費

予算額	2,928千円	(前年度	2,881千円)
うち道費	0千円	(前年度	0千円)

## 1 事業の目的

安全な畜産物の安定的な供給に資するため、地域の家畜衛生自衛防疫組織の育成・強化による健康な家畜の飼育並びに販売業者及び飼育動物診療施設、畜産農場等における動物用医薬品等の適正な取扱いを監督・指導する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額
家畜自衛防疫推進指導費	○市町村自衛防疫組合等への現地指導 ○家畜衛生に係る検討会等の開催	1,362 ( 0)
動物用医薬品指導監督費	○動物用医薬品等販売業の許可及び指導・監督 ○薬剤耐性対策	1,566 ( 0)
合計		2,928 ( 0)

## 3 事業実施主体

北海道

## 4 事業実施期間

昭和36年度（1961年度）～

〔 担当：農政部生産振興局畜産振興課  
(内線27-785) 〕



# 牛海綿状脳症病性鑑定費

予算額	206,482千円	(前年度	217,111千円)
うち道費	37,296千円	(前年度	38,276千円)

## 1 事業の目的

牛海綿状脳症（BSE）対策特別措置法に基づき全月齢の臨床疑い牛、BSE関連症状を呈する死亡牛の検査を実施するとともに、BSEを疑う神経症状を示した牛の病性鑑定を行う。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額
BSE検査に要する経費	○BSE検査のための検査材料の採材や焼却など	116,911 (16,664)
BSEエライザ検査に要する経費	○BSEエライザ検査を実施するための検査キット及び検査消耗品経費など	71,999 (8,114)
BSE検査施設の維持管理費	○BSE検査等に必要施設の維持管理	17,572 (12,518)
合計		206,482 (37,296)

## 3 事業実施主体

北海道

## 4 事業実施期間

平成13年度（2001年度）～

〔 担当：農政部生産振興局畜産振興課  
(内線27-785) 〕

# 植物防疫総合推進事業費

予算額	663,184千円(前年度	908,083千円)
うち道費	1,034千円(前年度	1,104千円)

## 1 事業の目的

植物防疫法に基づき設置された病害虫防除所を円滑に運営し、病害虫の発生に関する情報を提供する発生予察事業、国内での存在が確認されていない病害虫の侵入状況を調査する侵入調査事業、病害虫の多発生やまん延を防止するためのモニタリング調査等、植物検疫及び防除指導などを実施する。

また、ジャガイモシロシストセンチュウの緊急防除への協力など、総合的な防除・まん延防止対策を実施する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	事業実施主体	予算額
病害虫防除所運営費	○病害虫防除所の運営 ○病害虫発生予察事業の車輛維持	北海道	4,364 ( 862)
植物防疫推進事業費	○侵入調査事業の実施 ○発生予察事業の実施 ○高性能予察機器の整備	北海道	21,922 ( 0)
病害虫防除対策事業費	○ナシ枝枯細菌病の発生モニタリング調査 ○啓発対策・樹木消毒	北海道	344 (172)
ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除対策事業費	○発生状況調査、連絡会議等の開催 ○対抗植物の栽培等による防除作業	北海道 市町村	636,554 ( 0)
合 計			663,184 ( 1,034)

## 3 事業実施期間

昭和27年度（1952年度）～

〔 担当：農政部生産振興局技術普及課  
(内線 27-837、27-838) 〕

# 国際水準GAP推進事業費（新規）

予算額	27,064千円	（前年度	32,010千円）
うち道費	0千円	（前年度	0千円）

## 1 事業の目的

生産工程の改善や効率化により農業経営の持続可能性を高め、環境保全にも効果的な国際水準GAPを拡大するため、農業者向け研修会の開催や指導者の育成等による指導体制の充実・強化、農業教育機関等の認証取得への支援を行う。

### GAP（農業生産工程管理）[Good Agricultural Practices]

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組で、「工程管理に基づく品質保証」の考え方を農業現場に応用し、食品事故などの問題を農場が起こさないよう未然に防ぐ農場管理の手法。

GAPの実践は、食品事業者等の信頼を確保する上でも有効な手法となるほか、生産管理の向上、効率性の向上、農業者自身や従業員の経営意識の向上につながるといった効果がある。

## 2 事業の内容

（単位：千円）

区分	事業内容	事業実施主体	予算額
指導体制整備	○GAP指導者育成研修の実施	北海道	9,332 ( 0)
普及推進	○GAP実践モデル事例を活用した推進 ○農業者向け項目別実践研修及びGAPセミナーの実施	北海道	8,732 ( 0)
認証取得支援	○農業教育機関、農業者及び農業者団体の認証取得費用支援	農業者等	9,000 ( 0)
合計			27,064 ( 0)

## 3 事業実施期間

令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度)

（ 担当：農政部食の安全推進局食品政策課  
（内線 27-658）

# 米産地育成総合対策事業費

予算額	16,683千円 (前年度 21,441千円)
うち道費	16,683千円 (前年度 21,441千円)

## 1 事業の目的

本道稲作農業の持続的な発展と経営の安定を図るため、水稻生産力の強化に向けて、主食用米の消費拡大や冷凍食品などの加工米飯や米粉、日本酒など多様なニーズに対応した北海道米の需要・生産拡大の取組のほか、食糧法に基づく立入検査や米穀取扱業者等へのトレーサビリティ制度の遵守事項に係る指導など、北海道米の生産、流通及び消費の各般にわたる総合的な対策を講ずる。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	補助率	事業実施主体	事業実施期間	予算額
水田農業 元気づくり 推進事業費	○米麦生産技術講習会・研修会の開催 ○生産技術対策パンフレットの作成	1/2 以内	(一社)北海道 農産協会	H25年度 (2013年度) ～	857 (857)
米流通対策 指導事業費	○米穀事業者遵守事項対策費 ・立入検査の実施 ○米トレサ法対策費 ・立入検査の実施、制度遵守に係 る指導等	—	北海道	H22年度 (2010年度) ～	692 (692)
ごはん食拡 大推進事業 費	○北海道米の消費拡大 ・北海道米食率向上戦略会議の 開催 ・北海道米プロモーションの実施	—	北海道	R 3 年度 (2021年度) ～	2,603 (2,603)
	○ごはん食への理解醸成 ・北海道米・ごはん食の魅力発信 ・「ごはん食健康セミナー」「ごは ん食」講座開催への支援	1/2 以内	北海道米 販売拡大 委員会		
多様な北海 道米産地づ くり事業費	○北海道米の新たな需要の拡大 ・道産食材とのコラボレーション による新品種「そらきらり」の 需要拡大 ・米粉の理解醸成 ・道産酒米の更なる利用拡大 ○多様なニーズに対応した米生産 ・多様なニーズに対応した新品種 や栽培技術の普及推進	—	北海道	R 6 年度 (2024年度) ～ R 8 年度 (2026年度)	12,531 (12,531)
合 計					16,683 (16,683)

担当：農政部生産振興局農産振興課  
(内線 27-724)